



2017年10月30日

報道関係者各位

慶應義塾

第705回三田演説会 11/17 開催 「慶應義塾と図書館」

高山 正也 慶應義塾大学名誉教授・独立行政法人 国立公文書館 前館長

三田演説会は慶應義塾で1874（明治7）年に始まり、2015年7月に第700回を数えました。11月17日（金）に第705回三田演説会を開催し、「慶應義塾と図書館」と題して高山 正也 慶應義塾大学名誉教授・独立行政法人 国立公文書館 前館長が講演します。

つきましては、本演説会のイベント欄へのご掲載、およびご取材をよろしくお願いいたします。

1. 開催概要

(1) 日時：2017年11月17日（金） 14時45分～16時15分（開場14時00分）

(2) 講演者：高山 正也（たかやま まさや）

慶應義塾大学名誉教授・独立行政法人 国立公文書館 前館長

(3) 演題：「慶應義塾と図書館」

現代日本の確立と発展に大きく寄与した慶應義塾は図書館活動の先導機関でもありました。八角塔の旧図書館が義塾の象徴になっている所以でもあります。慶應義塾が図書館との関わりを通じて、高等教育・研究のための知識の知を構築する活動を概観し、併せて情報技術の変革が進む今後の図書館のあり方と課題をも考察します。

(4) 会場：慶應義塾大学（三田キャンパス）三田演説館

東京都港区三田 2-15-45

(5) 交通：JR 山手線・京浜東北線 田町駅下車（徒歩約8分）

都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅下車（徒歩約7分）

都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車（徒歩約8分）

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

(6) 参加：入場無料・申込不要（定員約140名）

※座席は先着順です。満席の場合は立見または入場を制限させていただく可能性がございますので、ご了承ください。

2. 高山 正也 君 プロフィール

〔略 歴〕

1966年慶應義塾大学商学部卒業。1970年大学院文学研究科図書館・情報学専攻修士課程修了。1980年同博士課程単位取得退学。1970年から1976年まで東京芝浦電気株式会社（現株式会社東芝）技術情報センター勤務。1976年慶應義塾大学文学部助手。その後、専任講師、助教授を経て1985年文学部教授。1987年から2006年まで大学院文学研究科委員。1996年カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員。2006年から慶應義塾大学名誉教授。2006年～2009年まで独立行政法人国立公文書館理事、2009年から2013年まで同館長。

〔受 賞〕

2014年 瑞宝中綬章

〔著 書〕

『図書館・情報センターの経営』（勁草書房、1994年）

『図書館経営論』（樹村房、1997年）

『現代日本の図書館構想』（勉誠出版、2013年）

『歴史に見る日本の図書館：知的精華の受容と伝承』（勁草書房、2016年）

『図書館概論』（樹村房、2017年）

3. 三田演説会について

三田演説会は、福澤諭吉を中心に小幡篤次郎、小泉信吉など10余人の義塾の先進者たちによって、演説、討論の研究錬磨の場として1874（明治7）年6月27日に発足し、翌年、日本最初の演説会堂である三田演説館が完成しました。スタイルや話題は変わっても、福澤諭吉の精神は時を超えて三田演説会に脈々と受け継がれています。三田演説館は1967（昭和42）年、国の重要文化財に指定されています。

福澤は、「演説とは英語にて『スピーチ』と云ひ、大勢の人を会して説を述べ、席上にて我思ふ所を人に伝えるの法なり」（『学問のすゝめ』十二編）と述べています。演説という概念はその当時の日本には存在せず、多くの聴衆の前で自分の意見を述べるという「演説」を実践しながら、試行錯誤の末に創造されました。経緯は『三田演説日記』などの記録に記されていますが、演説の練習を行うにあたり「決して笑ってはならない」と取り決めたというエピソードが「演説会」創始の苦心を端的に物語っています。

また、福澤は「演説」「討論」などの言葉も創り出しています。「演説」は「スピーチ」の訳語ですが、福澤の出身藩である旧中津藩で藩士が藩庁に対して意思を表明するために用いた「演舌書」という書面に由来します。「舌」という語句は俗的であったために「説」に換えたと福澤本人が述べています。

旧来の言葉に「スピーチ」という新しい意味と実体を与えたことに大きな意味があったとされています。さらに「ディベート」の訳語を「討論」と定め、「否決」「可決」などの用語が決められました。

*本資料は文部科学記者会、新聞各紙社会部・文化部、イベント欄担当等に送信しております。

*ご取材に際しては、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 並木

TEL 03-5427-1541

FAX 03-5441-7640

Email m-koho@adst.keio.ac.jp

http://www.keio.ac.jp/